

地域交流プログラム「カオヨセ」ご取材のお願いと 未来サポートプロジェクトvol.17 劇団普通 新作公演『季節』上演のお知らせ

水戸芸術館 ACM 劇場では、「**カオヨセ - つくる人とお茶会 -**」と題した**地域交流プログラム**を全3回で実施します。「顔寄せ」とは、舞台を作るときにスタッフ・出演者が初めて集まることを指す舞台用語です。第二回目は、**劇団普通**を主宰する**石黒麻衣（那珂市出身）**が登場。

1月中旬には、茨城に縁のあるアーティストを紹介する「未来サポートプロジェクト」として、全編茨城弁による作品が注目を集める劇団普通の新作公演が上演されます。今回のカオヨセでは、石黒の舞台の大きな特徴である「**茨城弁での舞台創作**」についてくわしくお話を伺います。

つきましては、ぜひ貴媒体にてご取材くださいますようお願い申し上げます。

地域交流プログラム **「カオヨセ - つくる人とお茶会 -」** 石黒麻衣さんとお茶会

【日時】1/8（木）10:30～12:00

【会場】水戸芸術館 ラウンジ・サザコーヒー

【聞く人】塩谷 亮（劇団 ACM）

【料金】1,000円（ドリンク付）

【対象】高校生以上

【定員】20名程度



石黒麻衣 プロフィール

茨城県那珂市出身。

独自の会話における間と身体性によって醸し出される緊張感を特徴とする「劇団普通」を主宰。全作品の作演出を手掛ける。リアリティを極限まで追求した「会話劇」とは一線を画す「態度劇」とでも言うべき演劇の表現におけるあらたな試みで話題となっている。



劇団普通

石黒麻衣（劇作家・演出家・俳優）主宰の団体。2013年旗揚げ。家族やきょうだい、友人のような身近な人々の日常を独自の緊張感とリアリティを追求した会話で描く。近年は、出身地の茨城弁による全編方言芝居を主に上演している。2021年にMITAKA "N ext" Selection 22ndに選出。『秘密』が佐藤佐吉賞2022にて最優秀脚本賞、王子小劇場2022年度支援会員賞を受賞。2025年5月に『秘密』を再演し、石黒麻衣が「第33回読売演劇大賞」中間選考会にて上半期の演出家賞ベスト5に選出される。

未来サポートプロジェクト vol.17 劇団普通 新作公演『季節』

《あらすじ》

地方で実家を継ぎ、年老いた両親の面倒をみながら妻と暮らす男。若くしてもうけた娘と息子は都会で暮らし、周囲にいるのは、兄、叔父、従兄弟などの男たち。介護問題、夫婦関係、親子関係、似ているようで少しずつ異なる事情を抱えた男たちは、お互い近くにしながら少しずつ孤独を深めていく。記録されることの無い、人々の記憶の中にのみ存在するような家族の日々の生活に焦点を当て、リアリティを極限まで追求して描く。「家族」という価値観の過渡期に生きる現代の人々の姿を全編茨城弁で紡ぐ劇団普通の新作長編。

うつろいゆく家族、変わらない私。

<公演概要>

未来サポートプロジェクト vol.17

劇団普通 新作公演『季節』

【日時】1/17（土）14:00開演

【会場】水戸芸術館 ACM 劇場

【作・演出】石黒麻衣

【出演】野間口 徹 川島潤哉 中島亜梨沙 金谷真由美

岩瀬亮 細井じゅん 安川まり 用松亮

【料金】全席指定／一般 4,500円、18歳以下 1,000円

【チケット取扱い】水戸芸術館(9:30～18:00／月曜休館)

【窓口】エントランスホール内チケットカウンター

【電話】チケット予約センター TEL：029-225-3555

【Web】<https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>



完売御礼

キャンセル券が生じた場合、
その都度WEB・電話・窓口
にて予約受付します。

【ご取材お申込み・お問合せ】

水戸芸術館 広報係（担当：山本、竹之内）TEL：029-227-8111 E-mail：kouhou@arttowermito.or.jp